

## 日本視能訓練士協会誌 第 55 卷 (2025 年) 指定論文問題の解答

タイトル 光干渉断層計 (OCT) を活用するには  
著 者 森 圭介 (国際医療福祉大医学部医学科)

設問 1 網膜の構造のうち、視細胞内節外端に相当し、主に錐体および杆体のミトコンドリアの分布密度の高い領域を反映するのはどれか。

1. external limiting membrane
2. ellipsoid zone
3. retinal pigment epithelium

設問 2 OCT angiography (OCTA) について正しいのはどれか。

1. 同一部位の複数画像を撮像し、白血球の高輝度と赤血球の低輝度反射成分の移動を血流信号としてあらわす。
2. 毛細血管レベルの解像度で網膜の各層の血管構造を明瞭に描出することができる。
3. 網膜の血液網膜柵機能の破綻を明瞭に描出することができる。

設問 3 「病巣の検出」のための OCT 撮像として誤っているのはどれか。

1. ルーティンのスキャン (中心窩を中心とした cross-scan や radial scan、黄斑の 3D scan) のみを撮像することが大切である。
2. 眼底の「最も留意すべき場所」「議論されるべき場所」を常に考えて撮像することが大切である。
3. 病態の原因部位 (病巣) を的確に撮影することは、時に治療方針を劇的に変えることがある。

	設問 1	設問 2	設問 3
正解選択肢	2	2	1